

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	東海	(2)記載者氏名:	西山 秀夫	会員番号:	9600	事務局整理記入欄	東海-9
分水嶺区分	W018スキー場の頭(△2123)～W015鉢盛山	(3)山行日:	2004年	3月	28日	(4)天候	晴、積雪0.3～1m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

布目 治二	8875	出原 朗	11903				
徳島 豊子	12781	西山 秀夫	9600				
安藤 千鶴子	12785	寺東 郁子	-				
青木 周子	12739	山本 紀子	-				
計			9名	計			0名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:													
アプローチ: (前夜発)名古屋～藪原～境峠～野麦峠スキー場～(リフト)～スキー場の頭 (往復)													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	スキー場の頭	寄合渡							2,123.0		8:45		
分水嶺到達点W018	同上	寄合渡							2,123.0		8:45	B-4	
W017	小鉢盛山	寄合渡							2,373.8	10:50	11:00	B-4	
W015	鉢盛山	古見							2,446.4	12:55	13:25	B-4	
	(往路を戻る)								.				
									.				
									.				
分水嶺離別点									.				
歩行終了点	スキー場の頭	寄合渡							2,123.0	16:30			
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間50分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W015	鉢盛山	1	不明	不明	積雪下、未確認
W017	小鉢盛	3	不明	不明	積雪下、未確認

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

鉢盛山山頂には電波反射板が2基設置されている。
野麦峠スキー場のゲレンデが分水嶺に接しているが極端な地形改造は認められず、自然環境は保たれている。

(9)水および植生に関連した特記事項

分水嶺(稜線)周辺はシラビソの原生林が優先し、所々にタケカンバが見られる。
林床はササと見られる。山頂付近は矮小化した灌木で森林限界に近い。全山樹林に覆われている。
太平洋からの湿った空気が森林限界を押し上げていると考えられる。

(10)その他の特記事項

当該区間は登山道、歩道が整備されていないため、残雪期の行動である。スキー、スノーシュー、徒歩と、様々なスタイルで踏査した。
蛇足:スキー場の名称は、同じ村内にあるとはいえ野麦峠とはかけ離れており、違和感を覚える。山屋としては鉢盛スキー場と称してほしいところである。
W016(鉢盛山林道)に該当する地点はない
W018地点の名称「スキー場の頭」は我々の勝手な命名である。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
小鉢盛山への稜線を行く、雪の下は猛烈なササヤブ。

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



小鉢盛山への稜線に行く、雪の下は猛烈なササヤブ。